NIE実践報告

1．タイトル：☆自己表現力を高めるための学習活動（新聞記事を参考にして）

2．学校名

宮崎県高原町立高原中学校

3．実践者名（代表者名）

西畑　洋和

4．学年

第3学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

選択社会科　38人

6．単元（本時の学習課題）名

歴史新聞を作ろう！（新聞記事を参考にして）

7．目標(狙い)

歴史的な事象に関心をもち、自ら課題を発見し、考え続けていこうとする態度を育てるとともに、調べた内容と自分の考えを、新聞を参考にして分かりやすく、論理的にまとめることができる。

8．評価の視点

自分の課題をもって継続的に歴史的事象について調べ、収集した資料を活用して、工夫して分かりやすい歴史新聞をつくることができたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数

（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

3年選択社会科は、高校入試に向けた補充学習を中心に進めているが、歴史的分野の復習が終了したのち、歴史的分野をさらに深めるために、「歴史新聞をつくろう」という単元を設定した。（5時間）

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①「歴史新聞をつくろう」について意義と方法について、説明を聞く。（15分）
②活動の課題に関心をもち、「新聞の見出し」「見出しの副題」を設定する。（35分）
③新聞記事にする項目を取り上げ、取材（調査）をおこなう。（2時間）
④歴史新聞を作成する。（2時間）

（留意点）
・今まで学習した歴史的事象の中から大きな見出しを設定する。
・取材（調査）をおこなう前に、記事にする項目を取り上げておく。
・項目にもとづいて、具体的に内容の調査活動をおこなう。
・B4サイズの縦書きで作成する。
・社説（活動を終えての感想等）を新聞に必ず記載する。
・完成した歴史新聞はまとめて、廊下等に展示し、他の生徒も閲覧できるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

アメリカの株式暴落をきっかけに、たくさんの会社や銀行などが倒産し、失業者が増加した。これは現在の世界の状況と同じだと思いました。現在の日本でも、自動車お売れ行きが赤字になったり、今まで働いていた会社から解雇されたりと、たいへんな状況になっています。日本も早くのこの事態をどうにかしないと手遅れになると思いました。

12．成果と課題

・実際の新聞を参考にしながら、歴史新聞を作成することにより、「見出しの工夫」「文字の大きさ」「写真やイラストの挿入」などの工夫が見られ、自己表現力の向上に努めることができた。
・歴史的事象の中から、何を新聞記事にするかで戸惑っている生徒がいた。また、新聞を作成するまでの取材（調査活動）に時間がかかってしまう生徒もいた。
・新聞の構成を十分に理解するまでに時間がかかった。また、実際の新聞と同様に作成しようとすれば、さらなる時間と労力が必要となる。